

たてばやし

第185号

市議会だより

<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp>

編集：館林市議会報編集委員会



9月
定例会

つつじが岡ふれあいセンター
(つつじ映像学習館)

館林市個人情報保護条例の一部を改正する条例など
11議案が決まりました

主な掲載記事

- 本会議のあらまし 2～4 ページ
- 決算特別委員会 4～5 ページ
- 議員個人の賛否結果一覧表 6 ページ
- 一般質問（8人） 7～11 ページ
- 常任委員会の審査報告 11～12 ページ

本会議のあらまし

平成27年館林市議会第3回定例会は、9月4日から25日までの22日間の会期で開かれました。

この定例会に市長から提案された議案等は、報告1件、議案12件で、審議の結果、いずれも原案のとおり可決、認定されました。その他、請願1件の審議が行われました。

条例の制定

▽館林市立学校給食センター整備運営事業PFI事業者選定審査委員会設置条例

Ⅱ「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」に基づき学校給食センターを整備運営するに当たり、透明性及び公平性を確保しつつ、民間事業者の選定等必要な事項を調査及び審議するため、館林市立学校給食センター整備運営事業PFI事業者選定審査委員会を設置することを目的とし、民間事業者の選定基準等の策定や提案書の審査及び最優秀提案

者の選定などを所掌し、学識経験者など5名以内の委員で組織することをはじめ、委員会の運営及び報酬等を定めるため、本条例を制定しようとするもので、賛成多数で可決されました。

▽館林市いじめ問題調査委員会及び館林市いじめ問題再調査委員会条例Ⅱいじめ防止対策推進法及び館林市いじめ防止基本方針に基づき、いじめにより児童生徒の生命、心身または財産に被害が生じた疑いがあるなどの重大事態が発生した場合に、教育委員会の附属機関として当該重大事態の解決に向けた調査等を行う館

条例の改正

▽館林市個人情報保護条例の一部を改正する条例Ⅱ

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の施行に伴い、本市が保有する特定個人情報について適正な取り扱いを確保し、自己情報の開示等、自己情報コントロール権行使の機会を充実させるため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。



▽館林市手数料条例の一部を改正する条例Ⅱ「行政手

続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の施行に伴い、本年十月から「個人番号通知カード」が郵送されるほか、平成二十八年一月からは、現在交付している住民基本台帳カードに代わり、新たに本人の申請に基づき、顔写真の付いた「個人番号カード」の交付が始まります。各カードの初回

交付手数料については、国が費用を負担するため無料となるが、紛失など本人の過失により再交付する際の手数料については、国の負担がないため、原紙やICカードの購入原価等の経費を考慮し、通知カードは500円、個人番号カードは800円と総務省から示された根拠に基づく再交付手数料を定める必要があるため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例Ⅱいじめ防止対策推進法に基づき、いじめの防止

等に関係する機関及び団体の連携を図るために設置する「いじめ問題対策連絡協議会」について、本市では、館林市いじめ防止基本方針により「館林市青少年問題協議会」をもって充てることなど、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

その他の議案

▽東毛広域市町村圏振興整備組合解散に伴う平成26年度東毛広域市町村圏振興整備組合歳入歳出決算の認定についてⅡ平成26年度をもって解散した東毛広域市町村圏振興整備組合の平成26年度歳入歳出決算について、地方自治法の規定により準用する地方自治法施行令の規定により、当該組合を構成していた市町の各監査委員の審査に付したうえで、議会の認定に付されたもので、平成26年度歳入歳出決算については、歳入決算額は4659万8653円、歳出決算額は4586万5173円で、歳入歳出

差引残額73万3480円
となります。

この平成26年度末における歳計現金や財産については、「東毛広域市町村圏振興整備組合の解散に伴う事務の継承に関する協議書」及び「東毛広域市町村圏振興整備組合の解散に伴う財産処分に関する協議書」により、歳計現金は太田市が継承し、財産も太田市に帰属するものとなります。

なお、林間学校については、今年度から太田市が直営で管理し、運営は当該組合を構成していた市町による任意協議会を組織し行っているもので、全員一致で認定されました。

補正予算

▽平成27年度館林市一般会計補正予算(第2号) Ⅱ

1億6165万5000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ273億2383万2000円とするもので、賛成多数で可決されました。

▽平成27年度館林市農業

集落排水事業特別会計補正予算(第1号) Ⅱ200万

円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ4977万2000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽平成27年度館林市介護保険特別会計補正予算(第1号) Ⅱ1985万7000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ58億2362万円とするもので、全員一致で可決されました。

報告

▽平成26年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について Ⅱ「地方公共

団体の財政の健全化に関する法律」において、財政の早期健全化及び財政の再生並びに公営企業の経営の健全化を図るべき基準が設けられ、具体的な指標である実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、実質収支及び連結実質収支が黒字であることから赤字比率はなく、実質公債費比率は4・3%、将来負担比率は91・2%であり、ま

た、公営企業会計における資金不足比率については、資金不足額が生じていないことから資金不足比率はなく、4つの全ての健全化判断比率及び公営企業会計における資金不足比率ともに、国の判断基準以下の数値となつているとの報告がありました。



平成26年度決算

▽平成26年度館林市歳入歳出決算の認定について Ⅱ

一般会計決算の概要は、最終予算額291億9890万5000円に対し、歳入決算額は291億2203万7493円で、予算に対する収入率は99・74%です。

また、歳出決算額は274億4894万3807円で、その執行率は94・01%となり、歳入歳出差引残

高は16億7309万3686円となります。このうち翌年度へ繰越すべき財源3億5352万4966円を差し引いた実質収支額は、13億1956万8720円となり、このうち10億円を財政調整基金に積み立てし、翌年度へ繰越すべき財源を含む6億7309万3686円を翌年度へ繰越しました。

017円。後期高齢者医療特別会計が、歳入7億9679万6775円、歳出7億4321万5525円で、いずれの特別会計も黒字決算となりました。

日本共産党館林市議団から反対討論が、緑水クラブから賛成討論が行われ、採決の結果、賛成多数で認定されました。

特別会計の決算は、国民

健康保険特別会計が、歳入88億1228万153円、歳出87億4188万3428円。下水道事業特別会計が、歳入20億9040万2172円、歳出19億8694万9495円。農業集落排水事業特別会計が、歳入4868万2457円、歳出4390万516円。介護保険特別会計が、保険事業勘定において、歳入56億7342万7007円、歳出55億8848万6976円、介護サービス事業勘定において、介護予防支援業務の完了に伴う清算により、歳入歳出ともに898万1

▽平成26年度館林市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について Ⅱ平成26年度の未処分利益剰余金については、前年度繰越利益剰余金659万9053円、当年度純利益1億2476万1375円、建設改良積立金1億円及び新会計基準移行に伴い発生したその他未処分利益剰余金変動額10億3529万356円を合わせ、12億6665万784円となり、そのうち、3000万円を減債積立金に、1億円を建設改良積立金にそれぞれ積み立て、11億3529万356円を組入資本金に組み入れ、残額の136万428円を翌年度繰

越利益剰余金として処分しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽平成26年度館林市水道事業会計決算の認定について
 Ⅱ収益的収支では、事業収益18億3297万3797円、事業費用16億7226万5228円で、この結果、消費税抜きの純利益1億2476万1375円が計上されたほか、資本的収支では、収入総額2億2667万1900円に対し、総支出額8億3410万4441円で、不足する額6億743万2541円については、建設改良積立金や損益勘定留保資金等で補てんされ、採決の結果、全員一致で認定されました。

請願の審議結果

▽「国際平和支援法」及び「平和安全法制整備法」の廃案を求める意見書の採択を求める請願Ⅱ賛成少数で不採択されました。



決算特別委員会

9月7日の本会議で、議員全員による決算特別委員会が設置され、14日から16日までの3日間にわたり審査が行われました。

採決の結果、議案第44号平成26年度館林市歳入歳出決算の認定については賛成多数により、議案第46号平成26年度館林市水道事業会計決算の認定については全員一致をもって、それぞれ原案のとおり認定すべきものと議決されました。また、議案第45号平成26年度館林市水道事業会計未処分利益剰余金の処分については全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決されました。

総括

急速な少子高齢化社会の進展に伴い、労働人口が減少する一方、社会保障費においては増加傾向に一層の拍車がかかるなど、地方財政を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いており、地方自治体には、自主性と自立性をより高めた行財政運営が強く求められている。

このような状況の中、本市においては、市制施行60周年という節目の年に当た

るとともに、「水と緑と人が輝く共創都市たてばやし」を将来のまちの姿とする第五次総合計画の4年目として、財政の健全性に留意しつつ、産業振興・雇用対策事業や、安全安心なまちづくりに対する事業、暑さ対策・緑あふれるまちづくり事業を重点項目に掲げ、市民生活の向上に取り組みとともに、「安心して生活ができるまちづくり」を実現するために様々な施策を実施した。

主な新規事業

○児童育成クラブ事業

第九小学校区に放課後児童育成クラブ施設を整備した。



整備した“わたらせ学童クラブ”

○金券発行事業

市民への各種補助金等を市内の店舗で使用できる金券で発行し、消費拡大及び地域経済の活性化を図った。

○小学校施設整備事業

第一小学校・第三小学校・第七小学校校舎内吊り天井、第四小学校・美園小学校食堂吊り天井改修工事設計を実施した。

○中学校施設整備事業

第二中学校校舎内吊り天井、第三中学校・多々良中学校柔剣道場吊り天井、第四中学校柔剣道場等の改修工事設計を実施した。

○公民館施設整備事業

渡瀬公民館の増築工事・既存改修工事を実施した。



増築工事が完了した“渡瀬公民館”

○向井千秋記念子ども科学館施設整備事業

プラネタリウム機器を更新するとともに、プラネタリウムリニューアルオープン特別番組を制作した。



リニューアルオープンした“プラネタリウム”

主な継続事業

○(仮称)障がい者総合支援センター整備事業

平成26年度開設に向けて、平成23年度から整備を進め、事業が完了した。



完成した“障がい者総合支援センター”

○保育園施設整備事業

成島保育園の太陽光発電設備改修工事を実施した。

○幹線排水路整備事業

準用河川宮田川改修事業は、平成16年度から19か年継続事業として整備を進めているが、本年度は護岸築造工事85m、調整池掘削工事6600㎡等を実施した。

○西部一号线道路改良事業

平成22年度から7か年継続事業として群馬県が整備を進めており、本年度は県

事業負担金として、東武鉄道(株)への委託工事及び県発注工事等を負担した。

○東部環状線改良事業

(市道3363号線)

平成21年度から9か年継続事業として整備を進めているが、本年度は用地2467・01㎡の取得と3件の補償及び道路改良工事等を実施した。

○土地区画整理事業

(西部第一南地区)

昭和61年度から33か年継続事業として整備を進めているが、本年度は富士西線舗装工事を241・7m、2戸3棟の建物移転等を実施した。

○土地区画整理事業

(西部第一中地区)

平成元年度から35か年継続事業として整備を進めているが、本年度は駅西通り線歩道舗装工事を133・3m、3戸4棟の建物移転等を実施した。

○土地区画整理事業

(西部第二地区)

平成11年度から26か年継続事業として整備を進めて

いるが、本年度は学校通り線外5路線改良工事を276m、5戸5棟の建物移転等を実施した。

○小学校施設整備事業

第九小学校屋内運動場や第十小学校校舎の耐震改修工事を実施した。

○中学校施設整備事業

多々良中学校校舎の耐震改修工事を実施した。



耐震改修工事を実施した“多々良中学校”

○文化会館運営事業

会館棟バリアフリー化工事を実施した。

○公共下水道整備事業

昭和44年度から整備を進めているが、本年度は管きょ整備として污水管2041・9m、雨水きょ36mの布設、処理場整備として施設工事委託を実施した。

平成26年度 館林市歳入歳出決算総括表

(単位: 円)

会計別		区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出 差引残額
一	般	会 計	29,122,037,493	27,448,943,807	1,673,093,686
特 別 会 計		国 民 健 康 保 険	8,812,280,153	8,741,883,428	70,396,725
		下 水 道 事 業	2,090,402,172	1,986,949,495	103,452,677
		農 業 集 落 排 水 事 業	48,682,457	43,900,516	4,781,941
		介 護 保 険	5,682,408,024	5,597,467,993	84,940,031
		後 期 高 齢 者 医 療	796,796,775	743,215,525	53,581,250
水 道		収 益 的 収 支 (経 常 的 経 営)	1,832,973,797	1,672,265,228	160,708,569
		資 本 的 収 支 (建 設 改 良 事 業)	226,671,900	834,104,441	△ 607,432,541

※ 資本的収支の収支差引不足額607,432,541円については、建設改良積立金や損益勘定留保資金等で補てん。
なお、この決算額には消費税が含まれています。

議員個人の賛否結果一覧表

議席番号 議員名 議案名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	結果
		権田昌弘	櫻井正廣	橋本徹	斉藤貢一	青木一夫	渡辺充徳	多田善洋	泉澤信哉	篠木正明	吉野高史	岡村一男	遠藤重吉	青木幸雄	野村晴三	河野哲雄	向井誠	高橋次郎	井野口勝則	小林信	町井猛	
議案第38号	館林市個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第39号	館林市立学校給食センター整備運営事業PFI事業者選定審査委員会設置条例	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	—	○	○	●	○	原案可決
議案第40号	館林市青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第41号	館林市いじめ問題調査委員会及び館林市いじめ問題再調査委員会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第42号	館林市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第43号	東毛広域市町村圏振興整備組合解散に伴う平成26年度東毛広域市町村圏振興整備組合歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	認定
議案第44号	平成26年度館林市歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—	○	○	●	○	認定
議案第45号	平成26年度館林市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第46号	平成26年度館林市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	認定
議案第47号	平成27年度館林市一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—	○	○	●	○	原案可決
議案第48号	平成27年度館林市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第49号	平成27年度館林市介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
請願第3号	「国際平和支援法」及び「平和安全法制整備法」の廃案を求める意見書の採択を求める請願	●	●	●	○	●	○	●	●	○	退	●	●	●	●	●	—	●	●	○	●	不採択

※向井誠議長は採決に加わりませんので「—」となっています。

【○：賛成 ●：反対 退：退席】

一般質問

今定例会における一般質問は9月8日・9日の2日間にわたり行われ、8人の議員が市政全般に対する諸問題について市の所信をいただきました。
内容は広範にわたっており、その要旨を掲載いたします。(本文は質問者本人が要約したものです。)

一般質問掲載順

(9月8日質問)

・権田昌弘議員……7ページ

・櫻井正廣議員……8ページ

・青木一夫議員……8ページ

・斉藤貢一議員……9ページ

(9月9日質問)

・篠木正明議員……9ページ

・小林 信議員……10ページ

・河野哲雄議員……10ページ

・吉野高史議員……11ページ

地方創生の今後のあり方について

権田 昌弘 議員

プレミアム付館林市金券

質問 発行を決めた経緯や本市と近隣市町の販売実績について伺います。

答 国の平成26年度補正予算に盛り込まれました地域住民生活等緊急支援のための交付金の事業実施に伴い、30%のプレミアム付館林市金券を発行いたしました。

た。本市は販売予定数2万

1500セットに対し購入

希望数は1万4509セッ

トで、近隣の足利市は7万

5000セットに対し2万

9215セット、太田市は

5万セットに対し5万96

30セット、大泉町は70

00セットに対し1万24

80セットでございました。

質問 実際売れなかった原因は何だと思えますか。

答 往復はがきでの申し込みに対する負担感が大きかったことや、1世帯当たり2セットまでと、購入できる金券が少なかったことが原因と考えております。

つづきが岡公園

質問 子どもたちが遊べる遊具やバーベキュー場などの施設を早急につくる考えについて伺います。

答 乗用遊具を整備するとともに、バーベキュー場

などの集客につながる施設も検討し、市や民間活力などによる整備を進めていければと考えております。

スポーツ施設

質問 若い子育て世代の多くがよりよい環境を望んでいる中、施設を改修して、子どもや市民に夢を与え、経済的効果も期待できる施策を行う考えがあるのか伺います。

答 トップレベルの競技大会やプロスポーツ観戦などスポーツを見る側に着目

会議録をご覧ください

市議会だよりは、紙面の都合で本会議の要旨を掲載しています。詳しくお知りになりたい場合は、会議録をご覧ください。



<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp>

しながら、各種大会が開催できる施設になるよう検討してまいります。

マイナンバー制度

質問 今後コンビニやショッピングモール等で行政サービスを休日でも受けられるようになるのか伺います。

答 個人番号カードの普及とともに、身近なところで交付できるサービスも必要になりますので、今後普及状況を見きわめながら、導入について検討してまいります。

「総合戦略に対する提言書」をベースに 館林市の未来像について

櫻井 正廣 議員

質問 短期的に滞在してお金を落としてくれる外国人を含めた観光客を招くことで、交流人口を増やし、人口減少化によるその増加分の経済効果を生み出させる方策について伺います。

観光資源を紹介することで、新たな観光客の創出や滞留時間を延ばし、地域産業の活性化が図れるよう、交流人口のさらなる拡大を図りたいと考えております。

答 本市の強みである首都圏から近距離といった利便性を生かし、さまざまな

質問 健康寿命を延ばすための施策として、全市的にラジオ体操を導入していく考えについて伺います。

答 ラジオ体操は、負荷も少なく気軽にできる体操であり、館林ラジオ体操連盟には1級指導員が3名、2級指導員が5名所属しておりますので、連盟のお力を借りながら、地域や企業等での取り組みを推進してまいりたいと考えております。

質問 年間を通して集える公園整備について、市民から強い要望のあるバーベキューエリアをつくるには、どのようなハードルがあるのか、伺います。

答 現有公園内に設置するには、火の管理や近くに水道施設があること、ごみ処理の問題、近隣住宅に煙や音、臭気等の迷惑がかからず、駐車スペースが確保できるなどの課題を整理し、区域を指定することが必要であると考えております。

要望 食材等の提供やごみの片付けなども民間に任せ、行政と民間とで行う共創社会の実現を望みます。

要望 人口に関する分析を行い、館林版人口ビジョンを定め、その実現に向けた具体的な施策を盛り込んだ総合戦略の策定に取り組んでいるところでございます。

地方創生ふるさと納税と ゆう活について

青木 一夫 議員

ふるさと納税について

質問 本年4月より、住民税の控除額が2倍になり、確定申告も不要になるなど、ふるさと納税制度が大きく変更されたが、本市の進捗状況について伺います。

外を問わず、1万円以上の寄附に対して概ね半額程度の返礼品を選択できるよう、仕組みを刷新し再スタートする予定で進めております。

質問 多くの自治体では、返礼品により地場産業や地元経済の活性化が図られ、また、寄附金により子育て支援や医療・介護の充実が図られるなど、自治体における自主財源の大きな調達手段となっています。本市では返礼品の取り組みも遅れていましたが、その理由や今後の活用等について伺います。

答 これまで、ふるさと納税の本来の趣旨であります本市を純粋に応援してくる方などに本市の風景を掲載したカレンダーを贈り、ふるさとを感じていただければと取り組んでおりました。今回の税制改正により、ワンストップ特例制度が導入され、市民が他の自治体へ寄附することで市の財源流出を防止する必要が生じたため、返礼品を本市の特産品や金券に変更したもので、流出の歯止めをかけるとともに、地場産業の振興や本市の知名度向上、財源の確保に努めてまいります。

ゆう活について
質問 政府は、夏の時期に、朝型勤務を国民運動として経済団体などに要請し、本市でも7月と8月に試験的

質問 政府は、夏の時期に、朝型勤務を国民運動として経済団体などに要請し、本市でも7月と8月に試験的

答 来客や電話もなく仕事に集中でき、効率的に業務ができた。家族との時間が持てて喜ばれたとの成果があった一方で、課題として、夜型から朝型への生活リズムにおける体調管理や職員の意識改革などがあります。今後も勤務時間について柔軟に対応し、より良い勤務環境の整備に一つ一つ取り組んでまいります。

「健幸都市づくり」の考えと 熱中症について

斉藤 貢一 議員

質問 人口減への歯止め等、

地方創生に向けた総合戦略の策定において、中心にあるべき考え方は、市民が健康で幸福感を感じられる生活が送れるよう「健康」の康を幸に置き換えた幸福度を重視する「健幸都市」づくりを目指すべきだと思いますが、考えをお伺いします。

答 館林市に住んでよかった、これからも住み続けたいと思う市民の割合を増やしていくとともに、本市の都市像である「水と緑と人が輝く共創都市たてばやし」に含まれている共創の理念、そして健幸の理念に基づいて、行政だけで進めるのではなく、市民と共に、

先人から受け継いだふるさと館林市を後世に伝えていきたいと考えております。

質問 「健康」に無関心な年代に対して、健康の大切

さや健幸こそが幸せに結びつくのだということをもう一度啓蒙し、健康増進を図っていく必要があります。

さらに、熱中症の危険度をはかるため、暑さ指数(WBGT) 湿球黒球温度が熱中症の危険度をはかる指数として熱中症診療ガイドライン2015でも用いられ

ております。本市ではホームページ上に暑さ対策情報の掲載のほか、市内に温度表示器の設置や簡易熱中症計の配布などにより熱中症対策が行われているが、学

校での熱中症対策と併せて熱中症指数計の普及状況についてお伺いします。

答 学校では、教育委員会からの文書等による注意喚起を行うとともに、水分やミネラル補給、活動時の休息、部活動における朝練や放課後練習の軽減等を行

うなど児童生徒の健康管理に留意してまいります。また、熱中症指数計については、常備されていない状況であります。

要望 「日本一暑いまち」を自認するのであれば、それに匹敵する対策が取られなければなりません。熱中症指数計も健康推進課に1台だけでなく、せめて各学校に配備していただくとともに、ホームページ上にも暑さ指数の実数公表のできるような体制をお願いします。

新しい学校給食センターの 整備について

篠木 正明 議員

質問 学校給食施設整備基

本方針にある「自校方式の良いところを取り入れたセンター方式」とはどういうものですか。

答 自校方式のメリットを可能な限り取り入れて整備するものです。見学スペースやアレルギーに対応した調理設備の整備等が一例

として挙げられます。

質問 新しい学校給食センターをPFIで整備することになっていますが、その概要を説明してください。

答 PFIとは民間の資金と経営能力等を活用して公共施設の設計、建設、運営、維持管理を行うものです。平成30年8月末の2学

期から新しい学校給食センターの運営を開始したいと考えています。整備内容としては、完全ドライ調理システムの導入やアレルギー食対応調理室の設置、見学施設等の整備などを検討しています。

質問 施設面ではより良い設備になると思いますが、問題は運営面だと考えます。施設建設後15年間、PFI事業者が調理業務などの運営をすることになります。業務委託では、市の栄養士

が調理員に指示ができません。栄養士が調理員に指示できるほうが運営面での創意工夫ができと思っていますが、PFIで自校方式の良いところを取り入れられると考えているのですか。

答 現在も調理業務は民間委託で行っています。この間、安全で安定的に学校給食を提供してきた実績があります。

質問 自校方式の良さを取り入れる上では、運営面での創意工夫が必要です。そ

れには直接、調理員に指示ができる市直営に戻すべきです。PFIで施設整備しても調理業務は市直営で行う自治体もあります。本市でもPFIから調理運営を除く考えはないのですか。

答 民間の経営能力やノウハウは安全で美味しい給食を提供でき、十分に信頼できる水準にあると考えています。また、市の職員数を増員できない状況から、民間委託を継続することも必要になると思っています。

雨水排水対策と いじめ・不登校問題について

小林 信 議員

住宅急増地域の排水対策

質問 7月の大雨により多くのところで道路が冠水し、住宅地に雨水が侵入しました。

する現状をどのように認識しているのか。

公共の排水路の容量が

た。例えば、大街道二丁目と茂林寺前駅西側地域です。

答 ご指摘のように、従前は農地だった部分に開発行為が多数行われており、そのため公共の水路の容量が、それに耐えられる容量を踏まえていないのが現状であると思います。

排水路は以前のままです。排水が一所に集中し、道路にあふれ、住宅にも侵入

雨水調整池の設置は

質問 大街道二丁目の排水能力を高めると下流の加法師川が氾濫することになり、茂林寺前駅西側では、関東学園の陸上競技場から滝のような雨水が道路にあふれ出ています。これらを解決するためには、雨水調整池の設置が必要ではないのか。

答 現在、大街道地域については東側地域の下水道部の改修工事を進めております。茂林寺前駅西側につ

いては、東武線の下を通り茂林寺川へ放流する排水経路や、駅前広場の整備に伴う排水は宮田川に放流する計画です。調整池については、立地的に難しい状況です。

自殺したいとの深刻な問題

質問 ある小学校で、いじめから、不登校になった子どもが自殺したいと母親に訴えたという深刻な問題があります。学校に相談したのに、適切に対応してくれないということです。教育委員会はどんな時でも素早く対応しなければ、子どもがあまりにもかわいそうで、保護者も心身ともに疲れ切っています。教育委員会として、この問題にどのような対応しているのか。

指導主事を中心に対応を

答 昨年度末に子ども同士のトラブルがあり、十分な対応ができずにきてしまいました。教育委員会としては、指導主事が学校に出向き、保護者、被害児童、学校と一緒にやって対応を進めているところです。

18歳選挙権について問う

河野 哲雄 議員

質問

期日前投票所での宣誓書の記載の簡素化は、有権者の負担を減らし、投票行動の意欲を高めると考えます。こうした宣誓書の記載の改善策について、考えをお聞かせします。

答 今回の県知事選挙では初の試みとして、選挙公報に期日前投票のお知らせ

と併せて宣誓書の様式を掲載しましたところ、約1割の方が宣誓書を事前に記載し来場されました。今後とも、円滑な受付業務に取り組んでまいりたいと考えております。

質問 本年6月、選挙権年齢を現在の20歳以上から18歳以上に引き下げる改正

公職選挙法が成立しました。本市では18歳選挙権に対してどのような対応策を考えているのか、お聞かせします。

答 新たに有権者となる若年層に対し、政治や選挙に関する積極的な情報提供と学習機会の確保が必要であると考えております。今後は直接学校に向向いての出前講座や模擬投票などの取り組みについての研究を行うとともに、若者への情報発信については、低コストで双方向のコミュニケーション

シオンが可能なインターネットが若者の政治参加の機運を高める上で有効な手段であることから、インターネットを活用した情報提供に取り組んでまいりたいと考えております。

質問 若者に政治意識を持たせるには、義務教育の段階から主権者意識を育む教育が重要であると考えておりますが、当局の考えをお聞かせします。

答 主体的に社会へ参画し、自立して社会生活を営む力などを目指した主権者教育を小学校の段階から行うことは大変意味あることと考えております。今後、教育委員会としては、社会問題の解決策を考える授業など、社会参加にかかわる授業モデルを示すなど、教員が主権者教育に取り組みやすい環境を整えるとともに、主権者教育の視点を取り入れた授業を各学校で積極的に実践するよう呼びかけたいと考えております。

地域医療について

吉野 高史 議員

質問 地域医療を守る中核病院である厚生病院の休診科目の今後の対応についてお尋ねします。

全国の人口10万人当たりの医師数は206・3人となっており、群馬県はほぼ全国平均であります。群馬県は、邑楽郡内と本市をあわせた人口18万4374人に対し

る医師数は平成24年度で200人となっており、全国平均である380・4人の約半分の医師数で多くの患者を診ており、20時間、30時間労働という過酷な労働条件で患者を診ているという医師の話も聞いております。このような状況において、厚生病院で休診してい

る科は、精神科、アレルギー呼吸器科、形成外科、産科となっており、小児科、整形外科、心臓血管外科、婦人科などは、外来のみで入院診療ができない状態にあります。そこで、地域医療を守る厚生病院の診療体制の見直しについて、どのように考えているのか、お伺いします。

特に産婦人科医については、産婦人科と産科従事医師数は全国で人口10万人当たり38・7人となっており、

邑楽郡と本市全体での人口に対して、全国平均では71・3人いてもおかしくはない数値になりますが、邑楽郡と本市に産婦人科医院は1院のみで、医師は1人しかおりません。早急に産婦人科医を呼び込む考えがあるのか、お伺いします。

答 今後も医師の確保や派遣につきましては、辛抱強く、あらゆるルートを使い努力してまいります。全国的な医師の偏在による医師不足の解消は、国の強

常任委員会の審査報告

総務文教

付託された案件は、議案4件と請願1件で、館林市個人情報保護条例の一部を改正する条例の審査では、委員から、警察からの捜査協力依頼等の際の特定個人情報取り扱いなどについての質疑がなされ、採決の結果は、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきも

のと議決いたしました。

館林市立学校給食センター整備運営事業PFI事業者選定審査委員会設置条例の審査では、委員から、PFI方式を選択した理由や、審査委員会委員の選定方法・選定期間などについての質疑がなされ、採決の結果は、賛成多数をもって、原案のとおり可決すべきものと議決いたしました。

館林市青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例の審査では、委員からは、今までの青少年問題協議会にいじめ問題対策連絡協議会としての機能が付加されることによる違いや開催回数を増やす考えなどについての質疑がなされ、採決の結果は、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決いたしました。

館林市いじめ問題調査委員会及び館林市いじめ問題

再調査委員会条例の審査では、委員からは、いじめによる重大事態との判断はどこで誰が行うのか、また、いじめ問題調査委員会と館林市いじめ問題再調査委員会との違いやそれらの連携などについての質疑がなされ、採決の結果は、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決いたしました。

「国際平和支援法」及び「平和安全法制整備法」の廃案を求める意見書の採択

いリーダーシップと政策的な大胆な医療改革を実行し、大都市に偏っている医師の現状を解消する手立てが必要であると考えております。出産可能な医療機関は市内に1か所のみで、多くの妊産婦の皆様には、市外の医療機関で出産をしていただいている現状ではあります。が、訴訟リスクの顕在化等の原因もあり、簡単には産科医不足を解消できるものではないこともご理解いただきたいと思っております。

を求める請願の審査では、集団的自衛権行使容認の閣議決定を具現化するための関連法案である「国際平和支援法」及び「平和安全法制整備法」は、憲法の平和理念と立憲主義を破壊する違憲立法なので、これらを廃案とするための意見書の採択を求める本請願の趣旨を踏まえて審査が進められ、採決の結果、賛成少数で不採択すべきものと議決されました。

また、耐震補強された第

九小学校体育館と第十小学校の現地視察を行いました。



第九小学校体育館の現地視察

市民福祉

付託された議案は、館林市手数料条例の一部を改正する条例の議案1件で、委員からは、個人番号カードの入手手続きや有効期間・更新手続き、セキュリティ対策などについての質疑がなされました。

採決の結果は、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決いたしました。

経済建設環境

議会から推薦する市の各種委員会委員のうち、館林市農業設備近代化資金等利子補給審査委員会委員及び館林市勤労青少年ホーム運営委員会委員に櫻井正廣議員と青木一夫議員を、館林市市営住宅入居者選考委員会委員に渡辺充徳議員、吉野高史議員、青木幸雄議員をそれぞれ選出しました。

また、つつじが岡ふれあいセンター内のフードコート等の現地視察を行いました。



フードコートの現地視察

構成 各委員会

総務文教常任委員会

◎橋本 徹 ○榎田昌弘

篠木正明 遠藤重吉

向井 誠 町井 猛

市民福祉常任委員会

◎泉澤信哉 ○斉藤貢一

多田善洋 岡村一男

野村晴三 井野口勝則

小林 信

経済建設環境常任委員会

◎青木一夫 ○櫻井正廣

渡辺充徳 吉野高史

青木幸雄 河野哲雄

高橋次郎

議会運営委員会

◎岡村一男 ○斉藤貢一

橋本 徹 篠木正明

野村晴三 河野哲雄

町井 猛

議会報編集委員会

◎渡辺充徳 ○櫻井正廣

斉藤貢一 岡村一男

河野哲雄 井野口勝則

小林 信

◎委員長 ○副委員長

議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か

本会議・常任委員会・特別委員会はだれでも傍聴することができます。議会では皆さんの生活に直結した重要な問題が審議されます。市政を身近に知るためにも、ぜひ議会の傍聴してください。

手続きは議会棟の3階及び4階で、傍聴人受付簿に住所・氏名を記入するだけです。傍聴席に限りがありますので、団体の場合は予め議会事務局までご連絡ください。

【12月定例会の予定】

- 12月 4日(金) 本会議＝会期の決定、議案提案説明など
- 7日(月) 本会議＝議案に対する質疑、委員会付託など
- 8日(火)・9日(水) 本会議＝一般質問
- 10日(木)・11日(金) 委員会＝常任委員会
- 17日(木) 本会議＝表決



☆本会議は午前10時開会予定です。会議の日程、時間等は変更になることもあります。

☆一般質問の通告順位表は、12月3日(木)から市のホームページでご覧いただける予定です。

(<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp> ⇒市議会をクリックしてお入りください。)